

# 創設が検討されている 「専門職業大学・専門職大学（仮称）※」 高校教員の認知は65% 課題は、専門学校との違いの明確化

—高校の進路指導・キャリア教育に関する調査2016 専門職業大学・専門職大学編—

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：山口 文洋）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）では、高校の進路指導・キャリア教育の現状を明らかにするため、全国の全日制高校の進路指導主事に対して進路指導の困難度、キャリア教育の進捗状況等についての調査を実施いたしました。調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

## 専門職業大学・専門職大学（仮称）について

- 高校教員の64.6%が専門職業大学・専門職大学（仮称）※を認知。うち、20.9%が名前、内容ともに認知している。→P3
- 創設による成果が期待できると考える教員は33.6%。最も多いのは「どちらともいえない」47.6%。→P4
- 期待できる点のトップは「実践的な教育内容で技術が身につくそう」（41.1%）→P5
- 懸念される点のトップは「現状の専門学校との違いがわからない」（52.2%）→P6

※専門職業大学・専門職大学（いずれも仮称）

企業で即戦力となる人材の養成を目指して、中央教育審議会の特別部会により創設が検討されている、職業教育に特化した新たな高等教育機関。専任教員の4割以上を企業などでの勤務経験が5年以上ある「実務家教員」とすること、卒業単位の3～4割以上を実習科目にし、企業での実習（4年制なら600時間以上）も義務づける。

卒業要件は大学・短期大学と同水準で、修業年限は2～4年、「学士」「短期大学士」相当の学位を授与することなどが適当とした。文科省は2019年度の開設を目指して必要な法改正をする方針。

■ 出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査2016」リクルート進学総研調べ”と明記ください。

【本件に関するお問い合わせ先】  
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 広報担当  
[https://www.recruit-mp.co.jp/support/press\\_inquiry/](https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/)

## 【調査概要】

- 調査目的：全国の全日制高等学校で行われている進路指導・キャリア教育の実態を明らかにする
  - 調査期間：2016年10月6日(木)～10月28日(金)投函締切（11月4日(金)到着分まで集計対象）
  - 調査方法：質問紙による郵送法
  - 調査対象：全国の全日制高校の進路指導主事4,807人
  - 集計対象数：1,105人（回収率23.0%）
- ※本調査は隔年で実施しております。

## 【回答校プロフィール】

### ■ 高校所在地（全体／単一回答）

(%)

	調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	無回答
2016年 全体	1105	6.2	9.2	13.9	18.4	13.4	2.7	13.3	10.0	11.8	1.1
2014年 全体	1140	7.1	11.4	11.8	16.8	13.5	2.7	12.0	11.3	12.5	0.8
2012年 全体	1179	7.5	10.3	11.5	17.3	12.7	2.4	13.2	11.6	12.9	0.5

### ■ 高校タイプ(全体／単一回答)

(%)

	調査数	普通科単独校	普通科中心で学科併設校	総合学科単独校	総合学科併設校	工業を中心とする高校	商業を中心とする高校	家政を中心とする高校	農業を中心とする高校	その他	無回答
2016年 全体	1105	56.6	20.2	6.2	1.2	5.2	3.3	0.2	2.8	3.4	0.9
2014年 全体	1140	54.6	20.1	5.2	1.1	5.9	3.2	0.4	2.4	5.4	1.8
2012年 全体	1179	54.3	19.1	5.8	1.3	5.8	3.4	0.4	2.0	4.7	3.2

### ■ 大学短大進学率(全体／単一回答)

(%)

	調査数	70%以上	40～70%未満	40%未満	無回答
2016年 全体	1105	47.5	19.0	32.4	1.1
2014年 全体	1140	46.5	18.6	34.1	0.8
2012年 全体	1179	45.7	19.8	32.9	0.5

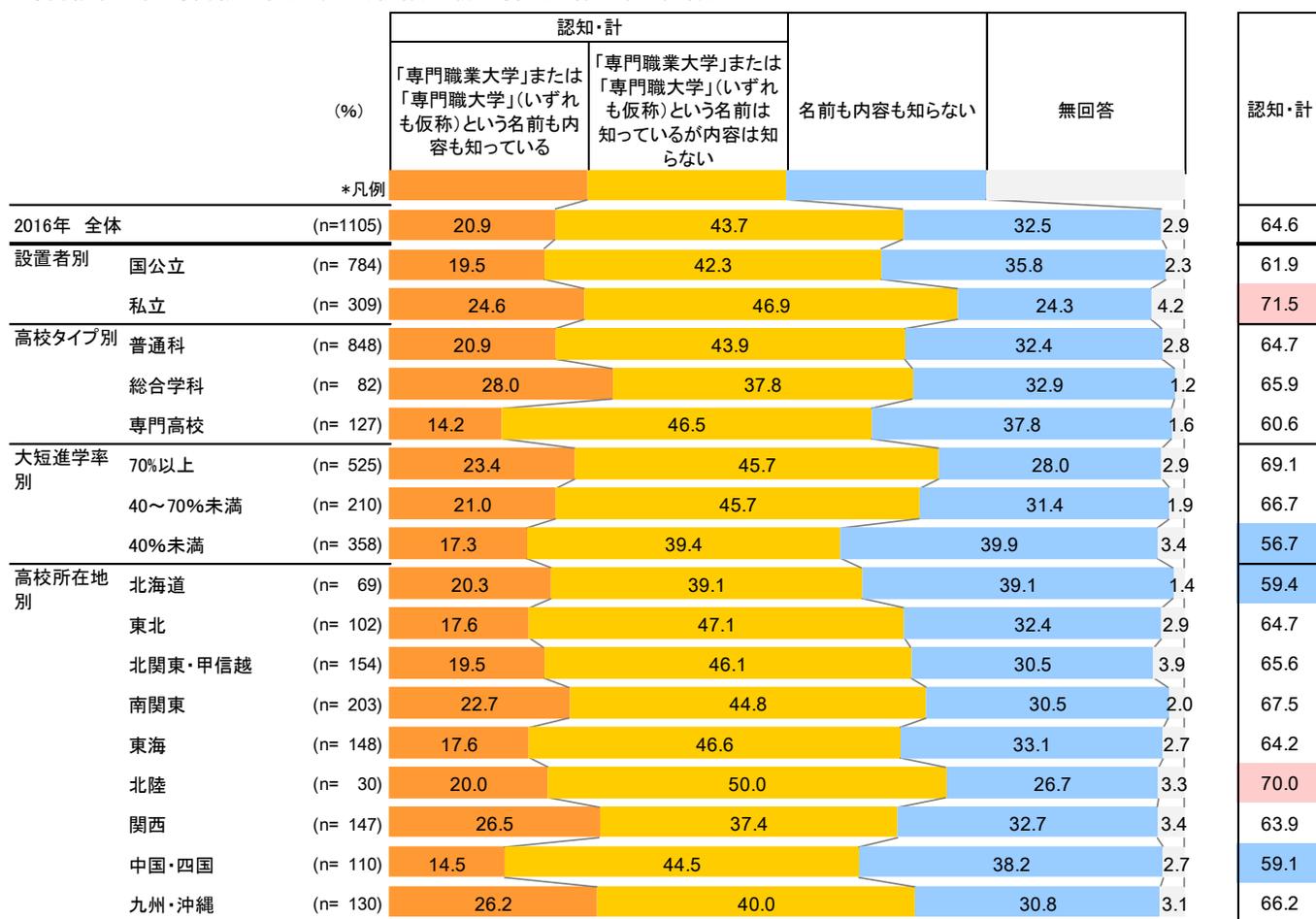
# 【専門職業大学・専門職大学（いずれも仮称）の認知度】

## ■全体の64.6%が認知。

うち、20.9%が名前、内容ともに認知している。

- ・大短進学率別に見ると、進学率が高い方が認知率が高く、大短進学率70%以上の高校は69.1%、40%未満の高校では56.7%と、12.4ポイントの差がある。

■専門職業大学・専門職大学（いずれも仮称）の認知度（全体／単一回答）



※「2016年 全体」より 5.0 5pt以上高い / -5.0 5pt以上低い

※調査票に以下の情報を記載。

### ■専門職業大学または専門職大学（いずれも仮称）について

中央教育審議会で、「専門職業大学」または「専門職大学」（いずれも仮称）についての答申が出されています。

- ・企業で即戦力となる人材の養成を目指して職業教育に特化した新たな高等教育機関。主に情報技術（IT）や 観光、農業などの分野で主導的役割を果たす人材を養成する。
- ・実践を重視し、教員のうち4割以上を、当該分野の実務経験が5年以上ある「実務家教員」にする。卒業単位の3~4割以上を実習科目にし、企業での実習（4年制なら600時間以上）も義務づける。
- ・卒業要件は大学・短期大学と同水準で、修業年限は2~4年、「学士」「短期大学士」相当の学位を授与することなどが適当とした。文科省は2019年度の開設（現在の高校1年生から対象）を目指して必要な法改正をする方針。

# 【専門職業大学・専門職大学創設による成果への期待】

■創設による成果が期待できるとしているのは33.6%。  
最も多いのは「どちらともいえない」47.6%。

・「期待できない」と考えているのは17.0%で、期待できると考えている層を下回る。

■専門職業大学・専門職大学(いずれも仮称)創設による成果への期待度 (全体/単一回答)

	(%)	期待できる・計		どちらとも いえない	期待できない・計		無回答	期待でき る・計	期待でき ない・計
		とても 期待できる	ある程度 期待できる		あまり 期待できない	全く 期待できない			
*凡例									
2016年 全体	(n=1105)	2.2	31.4	47.6	14.1	2.9	1.8	33.6	17.0
設置者別									
国公立	(n= 784)	2.0	30.6	49.1	13.9	3.2	1.1	32.7	17.1
私立	(n= 309)	2.6	32.7	43.7	15.2	2.3	3.6	35.3	17.5
高校タイプ別									
普通科	(n= 848)	2.0	28.5	49.1	15.6	2.7	2.1	30.5	18.3
総合学科	(n= 82)	1.2	43.9	43.9	6.1	3.7	1.2	45.1	9.8
専門高校	(n= 127)	3.1	37.8	44.1	11.8	2.4	0.8	40.9	14.2
大短進学率別									
70%以上	(n= 525)	2.1	27.4	49.1	16.0	2.7	2.7	29.5	18.7
40~70%未満	(n= 210)	1.4	31.0	47.6	15.2	4.3	0.5	32.4	19.5
40%未満	(n= 358)	2.8	36.9	45.3	11.2	2.5	1.4	39.7	13.7
高校所在地別									
北海道	(n= 69)		34.8	42.0	14.5	7.2	1.4	34.8	21.7
東北	(n= 102)	2.9	36.3	44.1	14.7	2.0		39.2	16.7
北関東・甲信越	(n= 154)	1.9	28.6	52.6	9.7	5.8	1.3	30.5	15.6
南関東	(n= 203)	2.5	21.7	53.2	16.7	2.0	3.9	24.1	18.7
東海	(n= 148)	2.0	29.1	48.6	18.2	0.7	1.4	31.1	18.9
北陸	(n= 30)	3.3	20.0	46.7	20.0	6.7	3.3	23.3	26.7
関西	(n= 147)	2.7	27.9	48.3	17.0	2.7	1.4	30.6	19.7
中国・四国	(n= 110)	0.9	40.0	44.5	10.0	2.7	1.8	40.9	12.7
九州・沖縄	(n= 130)	3.1	44.6	39.2	10.0	1.5	1.5	47.7	11.5

※「2016年 全体」より 5.0 5pt以上高い / -5.0 5pt以上低い

## フリーコメント

### 「期待できる」

- ・これまで以上に専門的な授業・講義が展開され、専門性の高い人材が育成されることが期待できる。
- ・実務家教員や企業実習の活用は、専門教育の深化に直結すると思います。
- ・大学教育には限界があり、企業が人材を育成している現状を変えたほうが良いと思う。
- ・目的なしに大学に行く生徒が減少するだろう。

### 「どちらともいえない」

- ・そもそも専門職大学の担うべき内容は専門学校が負っているものだと思う。
- ・現在の大学と専門学校が融合しているようなイメージなので、現状と大きく変わらないと思う。
- ・企業がねらう即戦力人材と大学が育成する人材がどの程度一致するのかわからない。個々の企業に広く適応するのは難しいとすると、何を狙うのかわからない。

### 「期待できない」

- ・即戦力の人材育成は企業が本来担うものであり、制度としての大学は基礎的な力を担うべきではないのか？企業のために「大学」はあるのではない。
- ・特化する前に、人間として身につけるべき事や、総合的な学習能力など、将来もっと大切にしなければならないものがあるのではないか。
- ・法科大学院が成功しなかったように、他の専門職大学も成功するとは考えにくい。

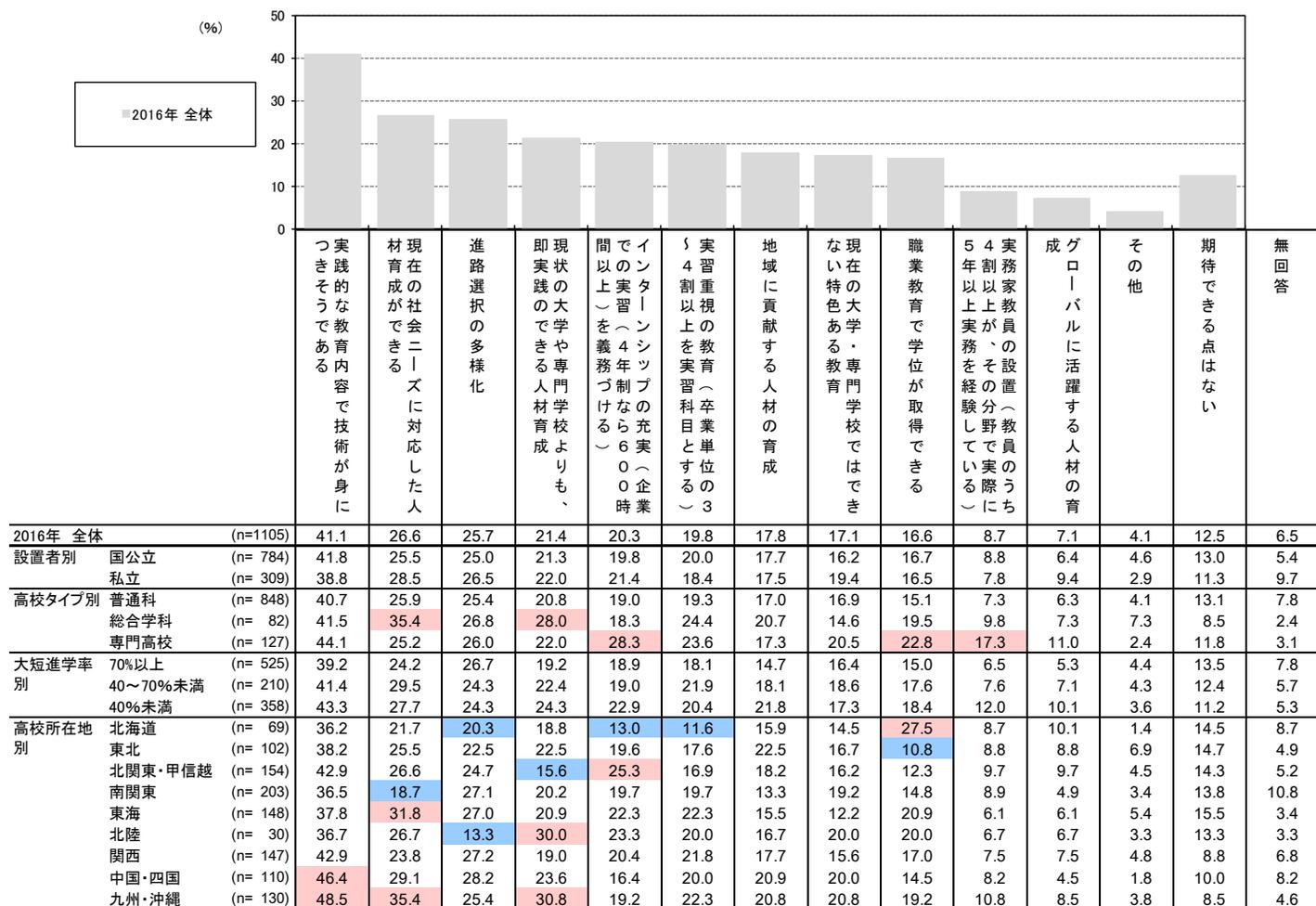
# 【専門職業大学・専門職大学の創設内容の中で期待できる点】

## ■トップは「実践的な教育内容で技術が身につくそう」

### ・専門職業大学・専門職大学の創設内容の中で期待できる点

- 1位「実践的な教育内容で技術が身につくそうである」 (41.1%)
- 2位「現在の社会ニーズに対応した人材育成ができる」 (26.6%)
- 3位「進路選択の多様化」 (25.7%)

■専門職業大学・専門職大学(いずれも仮称)の創設内容の中で期待できる点 (全体/複数回答)



※「2016年 全体」より 5.0 5pt以上高い / -5.0 5pt以上低い

※「2016年全体」降順ソート

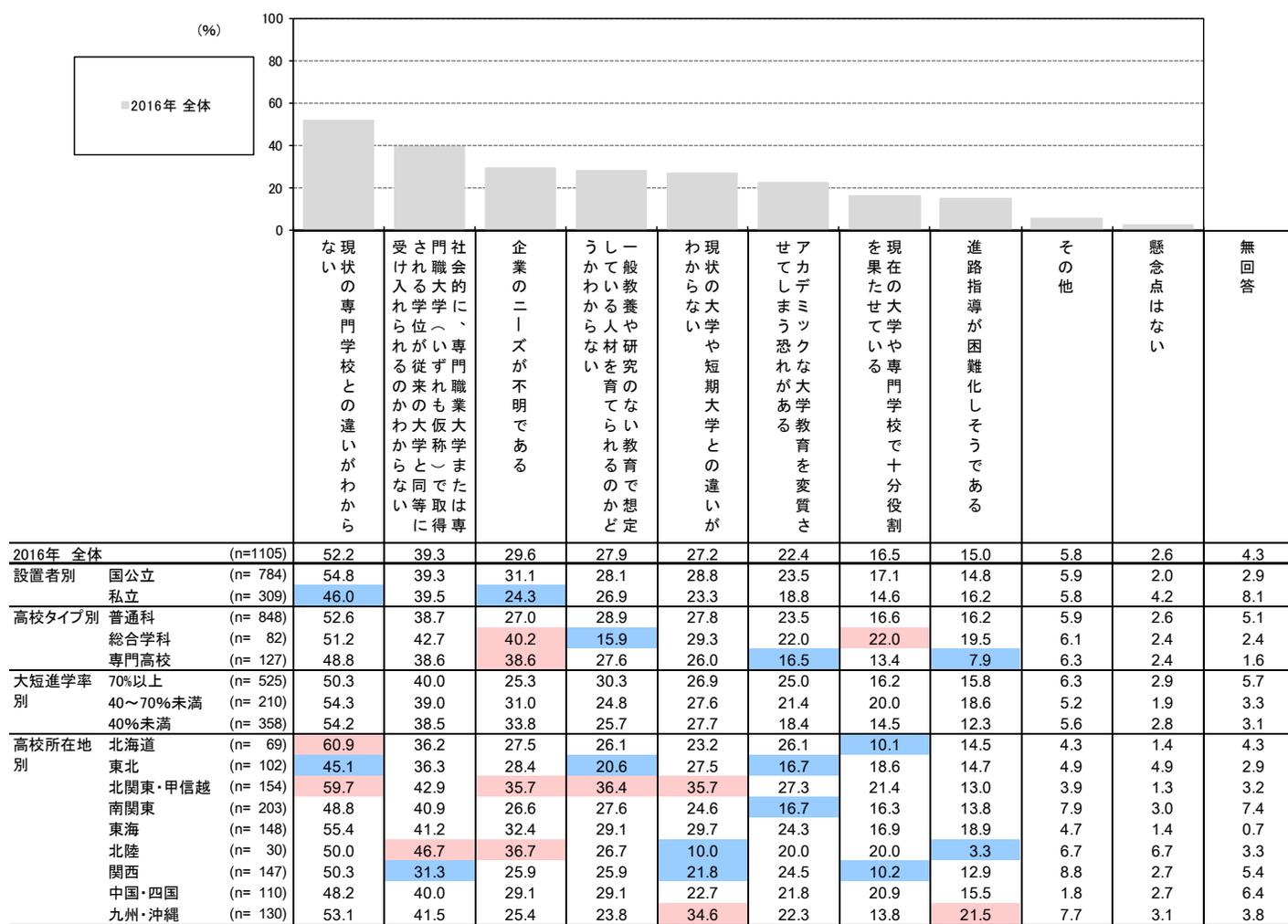
# 【専門職業大学・専門職大学が創設されることへの懸念点】

## ■ トップは「現状の専門学校との違いがわからない」

### ・ 専門職業大学・専門職大学が創設されることへの懸念点

- 1位「現状の専門学校との違いがわからない」 (52.2%)
- 2位「社会的に、専門職業大学または専門職大学で取得される学位が従来の大学と同等に受け入れられるのかわからない」 (39.3%)
- 3位「企業のニーズが不明である」 (29.6%)

■ 専門職業大学・専門職大学(いずれも仮称)が創設されることへの懸念点 (全体/複数回答)



※「2016年 全体」より 5.0 5pt以上高い / 5.0 5pt以上低い  
 ※「2016年全体」降順ソート